

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 3

10月27日

平成 25 年 11 月 1 1 日 発行
発刊元：塾熟出版（事務局）
東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317 - 6621 FAX 3317 - 6620

後期講演会号

開講記念講演会



参加者の感想（一部抜粋）

思った以上に楽しかったです/普通の中からも身の回りの情景に合わせて楽しい時間を創り出す事の面白さを感じました/バロンさんは何でもできる方ですね。音楽の大切さ、表現の大切さを感じました/バロンさん、自然体で楽しかったです。声もきれい/バロンさんチャップリンに見えてきた。映像では仕事の厳しさがひしひしと現れていて、バロンさんを応援したくなった/圧倒的な歌唱力、リズム感、素晴らしいパフォーマンスでした/音楽で育児疲れも吹き飛びました。



【10/27・セッション杉並】台風もすぎ去り、晴れ間ものぞく日曜日の午後 2 時、阿佐谷在住のボードビリアン（ 1 ）であるバロンさんをお招きして、大人塾後期開講記念講演会を催した。会場は 35 名ほどの熱気に包まれ、バロンさんの巧みな話術にウクレレ演奏にタップダンス、パントマイムと目白押し！参加者の方と一緒に手足を動かし、口を動かし、リズムに合わせるなど、「楽しむ」ことのすばらしさに気付けた 2 時間だった。途中、高円寺と阿佐谷にまつわる歌とお話や東北の被災地での支援活動の様子をお話しされるなど、地域と人、人と笑いと音楽をつなげるバロンさんの人柄がにじみ出る講演となった。当日はゲストにイラストレーターである小池アミイゴさんも登場し、アミイゴさんのイラストとバロンさんの歌と演奏がシンクロする幻想的な空間がセッションに創り出されていた。（文：瀬山）

※1:歌や踊りや楽器演奏で観客に笑顔を運ぶチャップリンやエノケンに代表される人たちのこと。



観て・聴いて・歌って・踊って・やってみて

大人塾をささえる大人たち

月・土コース
学習支援者編

みなさんの学び・気づき・活動に適切なアドバイスと
講座の進行・運営を行う学習支援者をご紹介します

松田 道雄(月)

山形県出身。中学校教員、高千穂大学教授を経て、東北芸術工科大学教授。全国に広がる「だがしや楽校」の発案者。主著『だがしや楽校のススメ』『輪読版駄菓子屋楽校』『関係性はもう一つの世界をつくり出す』など。

谷原 博子(月)

福岡県出身。FM福岡アナウンサー、長崎国際テレビキャスター、番組制作ディレクターを経て、現在杉並区の学校地域コーディネーターや自然災害・危機管理のドキュメント取材などフリーアナウンサーとして活動中。

日沼 禎子(土)

1969 年青森県出身。女子美術大学准教授。アート NPO リンク理事。社会とアート(アーティスト)のつながりを視覚化し、相互の関係を深めるための展覧会やプロジェクトなどを企画・実施。

坂田 太郎(土)

1980 年神奈川県出身。慶応義塾大学総合政策学部卒。P3 art and environment、MeMe Design School を経て、NPO 法人アート NPO リンク/アサヒ・アートスクエアに勤務。

すぎなみ大人 熟 してる？の発行にあたって

この新聞は事務局スタッフ松坂・坂本・湊・相山・瀬山の独断と偏見と事実に基づき作成しております。